

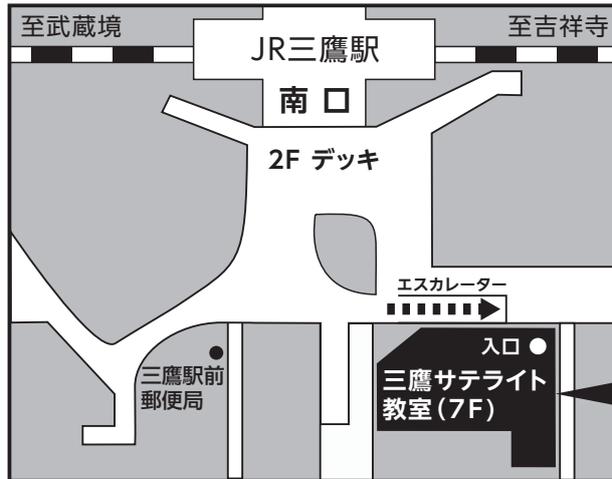
漢詩を読む

— 魏詩（続） —

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	—————				
講座概要	曜日	水曜日		日程 4月10・24日 5月1・29日 6月12日	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全5回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室			
講師	元國學院大學講師 小笠原 博慧 (おがさわら ひろとし)				
	1941年生まれ。1965年、私立高校教諭(漢文)。1974年、公立高校教諭(国語)。1994年、武蔵野女子学院高校教頭。1999年、同中学・高校校長。その間1975年、國學院大學講師(漢文学)。1982年、市立大月短期大学講師(文学、日本語)。1988年、武蔵野女子大学講師(仏教学、日本仏教史)。同大学仏教文化研究所所員。1988年、福泉寺住職。				
内容	<p>前回からの継続で建安七子の詩を読む。</p> <p>196年～220年の建安年間、曹操（武帝）曹丕（文帝）のもとで活躍した七人の文豪である。七人のすべてではないが、各々の特色ある詩を読む。各人それぞれに特殊の才があり、常に宮廷に出入し、宴游に侍して20年の間文才を競い合った。</p> <p>また、265年から西晋の時代となり、老壯虚無の学が盛んとなった。世の礼法を軽んじ、俗塵をさけて竹林などに憂游し酒を飲み、不老長寿のためと称して薬を飲み、琴を弾じ、好んで清談をなしたのが、竹林の七賢である。</p> <p>とくに、阮籍は中心人物であり、学識高く、音楽に通じ琴を愛した。嵇康は詞気美しく、もっとも老壯を好んだ。</p> <p>二人の詩を読む。</p>				
	<p>①4月10日：建安七子の詩①</p> <p>②4月24日：建安七子の詩②</p> <p>③5月1日：建安七子の詩③</p> <p>④5月29日：阮籍、嵇康の詩①</p> <p>⑤6月12日：阮籍、嵇康の詩②</p>				



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。